

PROGRAM

13:00 ● 開会の辞
来賓挨拶

○ セッション1 **構造解析ユニット** 座長| 岩田 想
「抗体を用いた膜タンパク質構造研究支援」

13:20 ● **林 到炫** (京都大学 大学院医学研究科 特定准教授)
D2RとVMAT2の構造機能解析によるドパミン神経伝達の理解

13:35 ● **清水 (小林) 拓也** (関西医科大学 医化学講座 教授)
創薬ターゲットとしての膜タンパク質構造解析の進展

○ セッション2 **モダリティ探索ユニット** 座長| 竹本 佳司
「精密合成技術に基づくハイブリッド型ニューモダリティ創製の創薬支援」

14:05 ● **高須 清誠** (京都大学 薬学研究科 教授)
ハイブリッドモダリティの精密合成

14:35 ● **浅原 弘嗣** (東京科学大学 医歯学総合研究科 教授)
運動器疾患を標的とするモダリティ創薬研究

14:50 ○ コーヒーブレイク
△ ブレイク会場にて各種支援活動の紹介を行っています

○ セッション3 **発現・機能解析ユニット** 座長| 辻村 太郎
「ロングリード1分子エピゲノム解析の支援」

15:20 ● **中島 欽一** (九州大学 医学研究院 教授)
神経系細胞のエピジェネティック制御とその医療応用に資する研究

15:45 ● **大上 雅史** (東京科学大学 情報理工学院 准教授)
AlphaFoldは創薬の役に立つのか？

○ セッション4 **ヒット化合物創出ユニット** 座長| 萩原 正敏
「産学連携により臨床試験を目指すワンストップ創薬支援」

16:05 ● **田口 敦士** (京都大学 医学研究科 特定助教)
スプライスネオ抗原誘導剤によるがん免疫増強療法の開発

16:20 ● **香月 康宏** (鳥取大学 染色体工学研究センター 教授)
染色体工学技術を基盤とした創薬プラットフォームの構築

17:00 ● 後評・閉会の辞

17:30 ○ 情報交換会